

Okayama Research Park Incubation Center

# ORIC NEWS

# 翔飛 ひしろう

## 入居者紹介



詳細は6ページをご覧ください

ONECRAFT

PFI岡山インキュベート(株)運営による「飛翔」発行は本号が最終です

— 本号の主な内容 —

- 巻頭言
- 研修・交流会活動
- 入居者の活動・トピックス
- 入居者紹介
- 新入居者紹介
- イベント案内

No.59 (2018.1)

## すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き生き岡山」を目指して

岡山県知事 伊原木 隆太



新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、県民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年、新たな県政推進の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き生きプラン」をスタートさせ、本県発展の好循環のエンジンとなる「教育県岡山の復活」と「産業の振興」に加え、おかやま創生実現の加速に向けた取り組みなどを中心にさまざまな施策を推進してまいりました。

産業の振興については、新たな企業立地が相次いで実現するなど、着実に成果を挙げており、引き続き、戦略的な企業誘致の推進や中小企業等の稼ぐ力の強化に努めてまいります。

そして、喫緊の課題である人口減少問題の克服をはじめ、本県が持続的に発展するための経済力の確保や地域活力の維持に向け、市町村、企業、NPOなど多様な主体と連携し、働き方改革等による出産・子育てしやすい環境の整備、移住・定住の促進など、「おかやま創生推進連携プロジェクト」に掲げている施策に総力を挙

げて取り組んでまいります。

新プランの重点戦略の一つである「地域を支える産業の振興」には、魅力あるしごとづくりが不可欠であり、本県の産業構造に厚みを与え、新たな雇用を創出するベンチャー企業の成長は欠かせません。

そのようなベンチャー企業の発掘・育成の拠点として設置した岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）は、平成30年度から、新たな管理者の下で、創業段階から発展段階までの成長に応じた効果的な支援を、さらに充実させて取り組むこととしております。

新プランの下、引き続き、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に向け、本県発展に向けた好循環の流れをさらに大きく確かなものとし、県民の皆様にも、「岡山はよくなった、岡山に住んでいてよかった」と実感していただける県政を力強く推し進めてまいりますので、皆さまにはご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

## ■ 平成29年10月度ORIC交流会

### ・バーベキュー交流会

毎年秋に開催している恒例のバーベキュー交流会を、10月12日に開催しました。今回はいつものORIC中庭ではなく試作開発室での開催となりました。天気予報では朝から降水確率が高く、雨に備えての対応でした。恒例となっている「笠岡ラーメン」と石臼型コーヒーミルで挽いたコーヒー豆を使ったコーヒーのサービスもありました。どちらも参加者が手慣れた様子でサービスする側に回ってまさに全員参加型の手作りのバーベキュー交流会となりました。

今回のバーベキュー交流会もORICの入居者に加え支援機関の関係者も参加し、IMの乾杯の挨拶で始まりました。ORICでの活動状況のほかに、互いの趣味や出身地、共通の知人・関心事などを話題にして、参加者の情報交換と人脈形成を意図する開催主旨は実現したようです。また、入居企業の社員家族の参加も増えて、子供たちの歓声もバーベキュー交流会を盛り上げてくれました。

家庭菜園で育てた野菜やデザートとしてフルーツの提供がありましたし、今回準備した焼肉材料も美味と好評で大いに盛り上がったバーベキュー交流会となりました。残念なのは開催時間中の雨は懸念したほどではなく、いつもの中庭の芝生の上で開催したかった、との参加者一同の思いが実現できなかったことです。

終了後は多くの参加者の方々の積極的なご協力により、スムーズに後片づけを行うことが出来ました。スタッフ一同感謝しております。



## ■ 平成29年11月度ORIC交流会

### ・入居者紹介

#### 「電動歯ブラシTAPGと”つまようじ法”のロボット化」 (株)Office HAT



11月度の入居企業紹介は、株式会社Office HAT代表取締役社長 渡邊達夫氏に、掲題のタイトルでお話いただきました。代表者の渡邊達夫氏は、長い間岡山大学歯学部にて「歯肉を強化することによる歯周病の予防を通して、一生自分の歯で食べられる社会の実現」を目指して、研究をしてきました。そしてその研究内容を「つまようじ法」という形に体系化されました。「つまようじ法」の効果については、多数のデータにより裏付けされているとのことで、主なものを挙げると次のようになります。「つまようじ法」の大きな効果のひとつは歯肉出血の改善です。そしてその副効果として出血改善のない妊婦の新生児体重は出血を改善した妊婦の新生児体重より220gも軽く、この値は喫煙妊婦の新生児体重が非喫煙妊婦のそれに対して131g軽いという事実と比べ大きな影響があることが示されました。口臭の改善。「つまようじ法」による治療により全ケースで口臭を表す値の激減が確認されました。これらの複合的効果として歯の延命効果がてきめん表れていることが示されました。「つまようじ法」はこのように歯の健康に対して大きな効果を上げることが示されてきましたが、最大の欠点はその術式が難しいことだそうで、これにより普及が妨げられてい

るとのことです。このたび術式の簡略化とより大きな普及、ひいては自分の歯の維持数を多くして健康寿命の向上へ寄与を目指して、術式の電動化開発とその事業化を行う目的で起業したとのこと。社名になっている、HATとは“Host Activation Theory（宿主強化療法）”の略であり、文字通り健康の源は肉体の強化によるところが大であるとの考え方だそうです。

歯の健康の飛躍的向上が岡山から世界に発信されることを期待いたします。

---

## ■ 平成29年12月度ORIC交流会・セミナー

---

### ・入居者紹介

#### 「車の開閉部のスポンジに使用する塗料の開発」 高木 章



昨年11月にORICに入居したばかりの高木氏から、今後実施していこうとする事業内容について紹介していただきました。発表タイトルにあるように、自動車の開閉部（窓、トランクなど）に、その部分の密閉のために装着してあるスポンジに使用するための塗料を開発するとのこと。

このスポンジ部分は、業界ではウェザーストリップ（略してWS）と呼ばれており、自動車の開閉部に使用するスポンジゴムの総称とのこと。WSに塗布する塗料は、スポンジゴムに必要な機能を付加するためのものであり、走行時のきしみ音を低下させたり、窓ガラスとの密着性を向上させたりする目的で使用されます。特に日本のスポンジメーカーからは、この塗料が、ジーンズのような粗めの生地ですすれてはく離してしまうことを抑制するために、耐ジーンズ摩耗性が高い塗料のニーズがあります。

高木氏は、特に耐ジーンズ摩耗性を向上させるニーズに応えるための新規の塗料を開発することを事業目的にしており、ORIC入居前に15年ほど、WS用塗料の開発に携わってきたとのこと。これらの塗料としては、40年ほど前からグラスラン用塗料が用いられてきました。グラスランとは、ドアのガラスと接触しているゴムの名称です。その後WS用塗料が開発されて、現在に至っているとのこと。塗料の溶媒としては、以前は有機溶剤が用いられていましたが、現在では水系塗料に変わっているそうです。ただ、水系塗料では、溶剤系塗料に比べて塗膜の物性面で劣る点があり、それらの物性の中で、特に耐ジーンズ摩耗性の要望が強いようです。

高木氏はこれまでの経験から、きしみ音、密着性、塗料自体の固着性などの評価装置を作成し、耐ジーンズ摩耗性の評価と合わせて改良塗料の特性を評価し、日本のスポンジゴムメーカーに売り込むことにしており、最初の目標は月産400kgですが、やがてトンオーダーの受注を得たいとのことでした。

---

### ・ORICセミナー

#### 「ノンアルコールビール事件に見る特許権侵害事件の裏表

#### ～特許の攻めと守り／恐ろしい特許の疵～」

笠原特許商標事務所 弁理士 笠原 英俊 氏

ORICの顧問専門家として特許関係を担当する笠原特許商標事務所長の笠原弁理士に掲題のセミナーをお願いしました。

身近なノンアルコールビールでサントリーが原告、アサヒが被告として争われた裁判を例に特許を巡る様々な問題や注意点などを解説していただきました（裁判での原告・被告の主張や争点と判決についてはORICのホームページにて笠原講師が作成した資料で確認ください）。

この特許権侵害事件では通常争点となる『被告製品が特許権範囲に含まれるか否か』は争われず、原告の特許を被告が特許無効審判により無効とされるべきものとして原告が特許権を行使できないと主張して第1審（東京地裁）で原告の請求（販売差止及び廃棄）が棄却されました（なお、第2審で和解が成立しています）。



この事件は特許審査も人間が行うものであり場合によっては誤りがあり、特許されるべきでないものが間違いで特許される、という特許に大きな疵がある事例でした。今回の大きな疵とは被告製品（ドライゼロ）が原告製品「オールフリー」（公然実施発明1）や被告製品「ダブルゼロ」（公然実施発明2）から簡単に思いつく（容易に発明）もので、進歩性が欠如しているとして原告特許は無効審判にて無効とされるべきもので、権利行使不可（原告敗訴）が第1審判決の結論とされました。

以上の事例から「特許は条件付きで認められる単なる決め事なので脆くはかないもの」と認識して特許権の行使時には注意するようにとのことでした。

### 参考

#### 公然実施された発明

その内容が公然知られる状況又は公然知られるおそれのある状況で実施をされた発明。特許出願前に公然実施をされた発明は、新規性を有しないため、特許を受けることができない。

## 入居者の活動・トピックス

### ■ ORICの3Dプリンタで経費と時間を節約しました

株式会社モウラ 代表取締役 乗金英司

弊社は「赤外線画像モジュール」の開発と販売を目的に昨年初に創業し、現在はプロトタイプ completion に至るまでにたどり着きました。

弊社のターゲットとするお客様は、電子機器の設計を行う会社の中で、目的とする装置を設計し部品の選定・評価・検討を行うお仕事をされる方を想定しております。実は私自身もかつてはそのような仕事を行っておりましたが、部品メーカーなどに対し、「取り敢えず動かせるサンプルはないですか？」とよく問い合わせをしたものです。その中で、評価用キットなどを格安でご提供頂ける場合は、非常に助かりました。

その経験から、「赤外線画像モジュール」の売り込みには、手軽かつ気持ち良く使える評価用キットのご提供が良いのでは、との考えに至りました。通常なら、電子基板1枚に簡単なゴム足を取り付けるだけでも「評価という仕事」の目的は達成できるのですが、さらに「ケース」にスッキリと収める事で、評価者などの机の上でもしっかりと馴染み、弊社の商品に対しても愛着を持って頂けるものと思われまます。通常は既成のプラスチックケースで代用するか、数百万円をかけてプラスチック用の金型を樹脂成形メーカーに依頼して製造することになりますが、何れにしても現実的ではありません。

この度、ORICの3Dプリンタを利用することで、以上の問題を一気に解決することができました。ローコストかつ短時間で弊社の評価用キットの目玉であるLCD（液晶パネル）を搭載できる実用強度も問題ないケースを製造しました。

お陰様で、お客様へも自信を持って営業ができるツールを完成させることができました。



# ONE CRAFT

## 人生の決断する瞬間に寄り添い、 その思いを形に変えてお届けしたい。

### 〈創業理由〉

「たった一つの決断を知ることで、たった一つの物を作り、たった一つの感動を生み出し続ける」をコンセプトに、2017年4月に創業。人の生涯には、あらゆる決断をする瞬間が訪れる。進学・就職・結婚・出産・退職など、自らで選択し新たな門出を迎える。そんな瞬間の思いを形にし、残し続けることで、その人のその後の人生の糧になることが当社の願いである。岡山県といえばデニム。そう言っても過言ではないほど日本、世界に発信し続けている繊維。井原、児島を中心に品質の高いデニムが世の中に出回っている。しかし、従来の商品展開の枠を超えることが少なく、服飾市場の中での展開が多い。そこで、デニム生地をウェディングの市場へ送り込み、デニム発祥の地ならではの結婚式を挙げられるサービスを展開しようと立ち上がった。

### 〈事業内容〉

レーザー加工機による、製造販売。デニムをはじめ、革やアクリル、100%衣類再生したフェルト生地などに加工を加え製品化。ジーンズのリメイクデータの作成にも力を入れている。

ONE CRAFT Weddingでは、挙式に添えるアイテムを展開。華やかな場所に晴れやかなオンリーワンアイテムを提案。現在、安価でデニムウェディングを挙げられるサービスを考案中。

### 〈商品展開〉

現段階では、ウェディングアイテムを中心に、レーザー加工技術を活かした商品を展開している。北欧風ウェルカムボードに関しては、



特殊に塗り重ねられた塗料を剥離させることで、写真と絵の間の風合いを表現している。

シャビーシックという北欧のアンティーク家具などに見られる「使い古された味わい、品の良さ」を一つ一つ手作業で加工しパネルに表現。シャビーシック加工されたパネルを特殊な技術によって塗装を剥離させ、木の風合いを残したまま二人の表情を浮かび上がらせる。

デニムタペストリーに関しては、デニムパンツにも使われているレーザー加工技術を屈して、決して剥がれない、自分だけのオンリーワンアイテムとして展開している。ペイントや印刷はいずれ剥がれ、劣化していく。当社の加工技術は刻印に近く、表面を剥離させることで刻み込む。格式高く、一つ一つに意味が込められている結婚式の場にふさわしい仕様になっている。



### 〈当社の技術〉

レーザー加工は、文字彫りや刻印のイメージが浸透しているが、当社は独自のデータ処理を駆使して様々な素材に柄や写真などを表現している。今までコストと時間を要していた焼印や、型押し技術を、さらに正確に細かく加工することができる。レーザー加工機を導入している企業はたくさんあるが、様々な目的や用途で受注が可能なのは当社の強みである。



レーザーにペイズリー柄を刻印

## 〈今後の展開〉

今後は、レーザー加工部門（BtoB）とGift部門（BtoC）に分けて展開。企業向け商品の展開を軸にリリース活動や営業に力を入れていく。いかなる状況でも「世のため、人のため」精神を忘れず、自由に結果を追い求められ、その先の楽しさを獲得していける集団であり続ける。商標化も視野に入れ、後に、IPOにもチャレンジ。日本を代表する企業へ昇りつめていく。

## ONE CRAFT

代表 岩田 龍真

連絡先 岡山県岡山市北区芳賀 5303

インキュベーションセンター314号

TEL/FAX 086-286-8710

E-mail/ onecraft.s62@gmail.com

URL/ <http://www.onecraftjapan.com/>

## 新入居者紹介

平成29年9月に開催された第58回入居審査会により下記2者の入居が決まりました。

入居者名	事業概要	所在地	分野
(株)Office HAT	・菌茎の強化、再生法である「つまようじ法」を、初心者でも無理なく実施できる電動歯ブラシの開発。	岡山市	ものづくり
高木 章	・新規水溶性塗料の開発：人の着衣（特にジーンズなど）と接触した場合の保護用塗料の摩耗剥離性の向上を水溶性塗料で実現しようというもの。	岡山市	ものづくり

## イベント案内

### ■ おかやまテクノロジー展（OTEX）2018～精鋭企業と出会う技術展示相談会～

（主催：岡山県、（公財）岡山県産業振興財団）

◆開催日：平成30年1月17日（水）・18日（木） 10：00～17：00（最終日は16：30まで）

◆場所：コンベックス岡山 大・中展示場

◆開催概要：県内の機械系ものづくり関連企業等の新技術・製品開発力・製品等を一堂に集め、「ものづくり県おかやま」を県内外へ広くアピールするとともに県外の大手メーカーとのマッチング機会を創出し、県内ものづくり企業の販路拡大を図ることを目的とした中四国最大級の展示商談会を開催します。



◆展示規模：172社・機関（283小間）

◆入場料：無料 ※JR中庄駅から無料シャトルバス運行

◆URL：<http://www.optic.or.jp/otex>

### ■ 平成29年度岡山県経営革新アワード 授賞式及び経営革新セミナー

（主催：岡山県、（公財）岡山県産業振興財団）

◆開催日：平成30年1月17日（水） 11：30～15：00

◆場所：コンベックス大展示場 基調講演ステージ

◆開催概要：①経営革新アワード授賞式：経営革新への取組により経営の向上が顕著で、他の模範となる企業を表彰します。

②経営革新セミナー

演題：「伝統とは革新の連続である！創業200年を超える老舗の挑戦」

講師：株式会社福寿園 代表取締役会長 福井 正憲 氏

NEWORX EXPO OKAYAMA(ビジネスプランコンテストおかやま2017)最終審査会

(主催：岡山県、(公財)岡山県産業振興財団)

- ◆開催日：平成30年1月18日(木) 13:00~15:35 開会・公開プレゼンテーション(最終審査)  
 15:40~16:30 講演・スピーチ  
 16:30~17:00 サポーター賞の発表  
 17:00~18:00 交流会
- ◆場所：コンベックス岡山 国際会議場(プレゼンテーション、講演)・バンケットホール(交流会)

入居者  
募集中!!

センターでは随時入居のご相談に応じています。  
お気軽にお問い合わせください。

Tel 086-286-9116



研究室小



研究室大

創業・第二創業を希望する方への支援が充実!!

- ・毎月の賃料が半額になる制度(創業5年未満かつ入居後3年間)
- ・岡山県工業技術センターの設備使用料が半額になる制度(入居後3年間)
- ・低価格で顧問専門家へ相談できる制度 など

施設使用料・空き室状況

(2018年1月現在)

施設区分	面積	使用料の月額	減額後の使用料※	部屋数	空き室数
研究室小	約25㎡	46,280円	23,140円	24	1
研究室大	約50㎡	90,510円	45,255円	29	3
試作開発室	約100㎡	180,000円	90,000円	6	2
創業準備室	5㎡/ブース	5,000円		6ブース	5ブース

※創業5年未満の企業及び個人は、入居後3年間は減額になる制度があります。

次回募集

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。  
 次回は2月末までに事業計画書を提出された方を対象に、3月中に開催の予定です。  
 (創業準備室の募集は随時受付けています。)  
 詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.oric.ne.jp>